

CLE02002 旅行記 (Conference on Laser and Electro-Optics)

高部英明

5月の連休は父の17回忌の法要を執り行い、母、姉、弟の哲明一家と我が家10人で阪九フェリーでにぎやかな帰省をした。いところ同士にはこんなに親しく長い時間を過ごすのは13回忌以来4年振りである。九州に帰り着き、無人となった骨山（枯れたお寺の意味）に久しぶりに接し、墓の周りや室内を皆で掃除して心を清めた。お世話くださっているお寺さんが、庭など大変綺麗にして下さっており、着いた時草ボウボウを想像していた私には気持ちよい驚きであった。

そんなで連休は忙しくも楽しい休みとなったが、7日に大学が始ってみるととたんに忙しさに振り戻された。7日(火)は名古屋に学会の編集委員会に出席する予定にしていたのが、「核融合研との合併等に関し、決定をする」という教授懇談会の案内が連休前に流れたため、取りやめとし、5時からの教授懇談会に臨んだ。毎度、喋りっぱなしが多すぎろと思っていたので「意見書」なるものを3頁ほどに箇条書きし配布した。議論の中身を書き出すと、胸が苦しくなるので辞めておこう。

さて、頃は博士後期学生の学振特別研究員の申請書締め切りの時期でもある。嬉しいことに、M2の杉山、小林両君も進学し研究者の道に進みたいと決めている。彼らにも申請を通して研究計画をしっかりと考えてもらうよい機会である。結局、D3 中島は総研大中島を指導教官にプラズマ・理工へ、D2 水田は天文学、D1 塩屋は物理一般、M2 杉山と小林は天文学に申し込んだ。塩屋と、杉山は指導教官は山田で申請。中島の場合、今年度からPDは研究機関を変えるようにと指定があり、関西研を拠点に考え中島氏にお願いした。

この週も忙しかった。木金(9, 10)はオパシティーの説明会と「輻射流体」のミニ・ワークショップ。山田君の3時間の講義は圧巻であった。外部から20人ほども参加があり大変賑やかな会議となった。ワークショップでは我々の「数値天文台」グループのホームページを筑波に開設し、コードをドンドン公開していくこととなった。

さらに、次の週は国際高等研究所所長・金森先生（前阪大総長）主催のJapan-Hungary Workshop on Frontier of Photon Scienceで後援を頼まれていた。前週のミニ・ワークショップなどの準備で話の準備が出来ていなかったもので、土曜、日曜と大学に出て準備をした。すこし皆さんに相対論的プラズマ物理学

のことも知っていたらこうと、講座の第 4 章にまとめた内容を盛り込んだ。また、イメージスキャナーを買ったばかりであったので、水田君に教えてもらいながら、みようみまねで使い方を学び使ってトラペを作った。本当は power-point に移行したいのだが、なかなかできない。

会議では金森先生や江尻（阪大核物理研究センター元所長）先生といろいろ意見交換が出来たこと、また、色々な情報を得た。大変有意義であった。（又書く）

CLEO の招待講演（題目：High Energy Astrophysics with Ultra-intense Lasers, 30 分、招待講演）は昨年早い頃、フロリダ大学の Martine Richardson 教授から依頼されたものである。特別企画の中での招待講演。Richardson が依頼してくれてきたことに感謝しよう。彼からは「俺のこと憶えているかな？」で始まるメールを頂いた。CLEO はそもそもレーザー自体の研究の会議で、レーザー研からは毎年何人も出席している。しかし、私が出席するのは 2 度目である。ただし、1 度目はアリゾナ大学に留学していた 82 年、山中千代衛先生の指名とかで、Phenix で開催された際、レーザー研のレビューをした。

いずれにせよ、珍しい会議に出席することになる。期日が迫って、さて、準備をしなければ、と思ったのが 17 日の金曜日。しかしこの日も研究会議での D (高部) グループの報告、午後から、理学研究科の会議、そして、小林君の遅れに遅れた書類の仕上げ、とあったため結局出来ず。疲れたので帰って、翌日大学に出かけることにした。この日は東大の野本氏と一身上の話をした。

【出発】

今回、JR 茨木から Airport Bus を使った。1800 円。1 時 50 分発で、70 分ほどで着いた。JAL60 便は AA とのコードシェア便。満席のようでいい席が無い。9 時間 30 分のフライトで映画を 3 本見た。後は、宮城谷の「奇貨おくべし」の第 1 巻を読み終わる。何時ものように、一睡も出来なかった。

入管で前回のように 2 時間ほどかかるだろうと、入管カードも並んでいる間に書こうと思っていたら、以外にも、「入国の目的は」と聞かれただけで、直ぐ終了した。荷物も順調に出て、リムジンバスにきた。15 分ほど待たされて、5 人の客の乗ったリムジンで Long Beach 方面に出発。大回りをして 1 時間もかけて、私の泊まる Best Western of Long Beach に着いた。綺麗なところだ。国内予約してきたが、一泊税込みで 79 ドルは安い。部屋もダブルベッドが 2 つある。

机もある。そこで、今、このタイプを打っている。(写真参)

まずは、歩いて km 程の会場に登録のために出かけた。Convention Center である。アメリカではどの都市でも CC があり、会議などを誘致している。周りには高いホテルがあるのが普通だ。今回の会議側が準備したホテルも高く、シングル 200 ドルというのものもある。アメリカの研究所の場合、領収書を出せば高い所でも金を出してくれるから良いが、レーザー研の場合はそうはいかない。自分の才覚で、安くて、良くて、安全なところを探す必要がある。今回は、Best Western のホテルリストから探し、予約してきた。

登録を済ませ、大きな荷物（概要集録が電話帳のような厚さ）もくれた。参加予定者は 6500 人とあった。すごい会議だ。そのまま重い荷物を持って、大きな音楽が聞こえるほうに行った。すごい人ばかりで、いろいろな店が出ている。しかしフェンスの内側で、このフェンスが何処までも続いている。フェンスは道をふさいでさらに続いていく。意地になって、入ってやろうと思う。ようやく入り口らしいところに着いた。何となく入場しようとしている人たちが、刺青などしている若い男女が多い。

(メモ)

CLEO 会議はレーザー技術など私の専門外だ。しかし、月曜日は招待講演の梯子をして、聞いていてとても面白かった。難しい式は出てこないし、アイデアとあとはマックスウェル方程式のイメージさえあれば充分話を理解できて、本質がつかめる。

ファイバー技術などに感心した。

参加者は 7 千人を超えた

展示会が大変賑やかだった。100 社を超える参加。OSA は学会としてしっかりビジネスをしている。

水曜の式典が立派だった。3 つの学会が合同です。CLEO という組織が 3 つをくっつけている。C. Towns 賞。若手の 8 人を表彰。フェローも壇上で。フェローの賞状は OSA の方が額入りで立派だった。

総合講演 3 件。